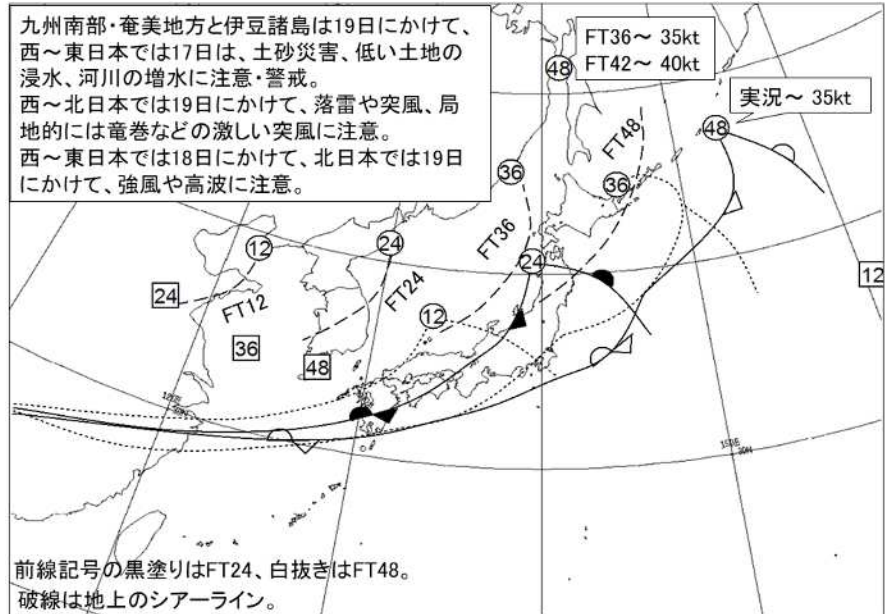


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5760m付近のトラフが朝鮮半島付近にあって、対応する低気圧が朝鮮半島付近を東北東進。中心から温暖前線が西日本へのび、寒冷前線が東シナ海へのび、停滞前線となって華中へのびている。九州北部で1時間に40mmの激しい雨を解析。
- ② 華北に低気圧があって南東進。中国東北区にも低気圧があって東北東進。これら低気圧の南側で積乱雲が発達している。
- ③ 日本のはるか東の高気圧と①②の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、北海道地方や西日本ではやや強い風や強い雨が吹き、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は17日夜には北日本に進み、温暖前線が北日本へ進む。低気圧は18日には閉塞しながらオホーツク海に進み、閉塞点から発生した低気圧が千島近海を北東進する。前線の南側には850hPa 330K以上の暖湿気が流入して大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。また前線は、18日朝には本州の南岸から九州の南を通して華中へのび、九州南部～華中には19日にかけて停滞する。特に九州南部・奄美地方では前線が停滞するため、断続的に激しい雨や非常に激しい雨が降り総降水量が多くなる所がある。九州南部・奄美地方と伊豆諸島では19日にかけて、西～東日本では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。九州南部・奄美地方と伊豆諸島では19日にかけて、東～北日本では17日は、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 18日の日中は地上のシアラインが東～北日本を通過し、19日は北日本の上空500hPaに -18°C 以下の寒気が流入して大気の状態が不安定となる。東日本では18日は、北日本では18日と19日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ③ 2項①の低気圧や前線の影響でやや強い風や強い雨が吹き、波が高くなる所がある。西～東日本では18日にかけて、北日本では19日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時から24時間): 東海180、九州南部150、四国・近畿・関東100mm。
- ② 波浪(明日まで): 北海道・東北・関東・伊豆諸島・中国・九州北部3m。
- ③ 高潮(明日まで): 大潮の時期。東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「雷と突風に関する全般気象情報」を05時頃に発表予定。